

## 従軍慰安婦という悪質な虚妄

(1)

### 【橋下徹大阪市長の発言に波紋】

ご存じの通り先月十三日、橋下徹大阪市長が「従軍慰安婦は必要だった」と発言し、日本国内や周辺諸国に波紋を呼びました。みんなの党の渡辺喜美代表は「維新の会とは協力解消」を公言し、民主党の辻本清美議員、同じく民主党の徳永エリ議員らは、「女性として絶対に許せません」等の大バッシングで橋下発言に応えていました。また、旧日本軍の従軍慰安婦だったという韓国人女性ら六十人以上が、十五日ソウル市内の日本大使館前で抗議デモを行いました。デモに参加した元従軍慰安婦だといふ六十八歳の女性は、「橋下の口を引き裂いて、二度と無謀な発言ができないようにしてやりたい」と怒りをあらわにしていました。なお韓国外務省は橋下市長の発言を「女性の権利に対する尊重と、歴史認識を著しく欠いている」と批判した他、中国外務省も「驚きと怒り」を表明するとしたコメントを発表していました。読者の皆さんは、この一連のやりとりをどの様に感じましたか？

私は個人的に、韓国や中国の行動

や発言はさておき、日本国内の一政党の代表や、国民の代表である一議員が、歴史的事実の受け止め方や、歴史認識の甘さに、愕然とした…というのが率直な感想です。

現在、我が日本国を覆っている様々な問題や、それに伴う国民の墮落は、詰まるところ正当な教育を受けていない事によるものと危惧しています。

それでは**正当な教育とは一体何か？** 歴史的事実とは一体どの様なものなのでしょう？『**従軍慰安婦問題**』を一つ取り上げても、当紙幅だけでは、とてもまとめられないので、今月号から向こう数号に亘って調査したところを事実に基づいて、論じて参りたいと思います。その間、読者の皆様からは忌憚のないご意見やご感想をお寄せ頂ければ幸いに存じます。という事で、早速「**従軍慰安婦の問題**」について、記してまいりますと思えます。

### 【慰安婦とは？】

そもそも慰安婦とは何か？俗に売春婦の事です。そして韓国などが謝罪を主張している【**従軍慰安婦**】とは何か？彼らの主張はこうです：「**日本軍が朝鮮やシナの婦女子を強制連行（拉致）し、軍隊の管理の下に兵隊の性奴隷にした（売春を強いられた）**」というものです。では、本当にこの様な事実が

あったのか？もしも、あったことを証明するには証拠を見つけなければいけません。しかし、無かったことを証明するのは当然ながら難しいもの。というよりも、証明できません。無かったことに証拠などあるわけがないのです。

### 【元慰安婦女性の面会拒否】

大阪橋下徹市長の『**慰安婦**』発言で、大きな波紋を起こしている今回の騒動。韓国政府から元従軍慰安婦だったといふ**金福童（キムポットン）**さん八十七歳と、**吉元玉（キルウオノク）**さん八十四歳が名乗り出ました。それをうけて「**日本軍『慰安婦』問題・関西ネットワーク**」なる支援団体らが、橋下発言の撤回と謝罪、それに市長の辞職を求め、五千人余りもの抗議署名を集めて大阪市に提出しました。

そして迎えた五月二十四日、橋下市長と元従軍慰安婦という女性二人の面会が予定されていましたが、**金福童**と**吉元玉**らを支援する先述した団体から、大阪市役所の秘書課に「今日の面会を中止したい」と、急遽面会拒否を申し出てきました。大阪市によると「二十四日午前八時ごろ、慰安婦側から突然、中止の意向が伝えられた」との事です。それは面会予定の数時間前の事でした。ところで、この面会拒否の理由については、支援団体の方清子共同代表は「橋

下氏が）本当に元慰安婦の声に耳を傾け謝罪するのはあり得ないと思われ、決断した。橋下市長のパフォーマンスや、シナリオに合わせるわけにはいかない。会う価値も理由もない」と、元慰安婦の**金福童**さんらの抗議声明が代読されました。そして、橋下氏が発言を撤回せずに謝罪の意向を示した事に対して、「政治利用されたくない」と反発しました。これを受けて橋下氏は同日夕方、大阪市役所で「先方の気持ちが一番」と答え、無念の表情を浮かべていたのが印象的でした。私は、この不自然な面会拒否の報道を聞いて「やっぱりなあ」と思いました。今回の面会拒否の理由に「会う理由も価値もない」と言っています。本当に「会う理由も価値もない」のなら、どうしてここまで抗議デモまで起こし、沖縄県西原町と広島県福山市で集会に出席するなどして、「十四歳で従軍慰安婦になり、中国やインドネシアなどの前線を旧日本軍と転々とした」などの経験赤裸々に話しているのか？「**私は元慰安婦（強制連行された売春婦）です**」と名乗り出るには、相当地な覚悟があると思えます。そうでなければ、恥ずかしくて表に出て来れないのが人情というものではない

でしょうか？当然のこと、大きな責任（正義感）と覚悟をもって全世界にアピールしているはずで。そういう意味で、今回の橋下市長との面会は絶好のチャンスではなかったのか？それを「会う理由も価値もない」とは、どう考えても不自然ではありませんか？ここで一つの歴史的事実を取り上げてみます。

### 【金学順という韓国女性】

平成三年（一九九二）、大分県に住む一主婦が訪韓、ソウルでピラを撒きました。彼女は『従軍慰安婦問題』で、日本政府を相手に裁判を起こそうと呼びかけ、原告となる女性、つまり従軍慰安婦にさせられた女性を募る内容のピラを撒いたのです。すると一人だけ名乗り出た韓国女性がいきました。その名を金学順（キム・ハクスン）という六五、六歳の女性です。彼女の主張はこうです：「女子挺身隊として戦場に連れて行かれ、強制的に日本軍相手に売春させられた」というものでした。戦時中、女子挺身隊という言葉は確かにありました。戦局が押し詰まり、日本国内で労働力が不足してきた。これを補う為に、旧制中学や女学校の生徒が軍需工場などに勤労働員された。この勤労奉仕を行う中学生を《学徒勤

労隊》、女学生を《女子挺身隊》と呼びました。

女子挺身隊が売春を行うなど、逆立ちしても有り得ない事です。金学順さんの話では：「十四歳の時に生活に困った母親によって四十円でキーセンに売られた。そして雇い主が日本軍の占領地に売春宿を開き、自分もそこで働いた」という事です。何のことはない。

後述する戦場売春婦そのままの実態ではないか。ところが当時の朝日新聞は戦場売春婦の実態を知っていながら、故意に非人道的だと煽り立て、日本政府は賠償を：という記事に仕立て上げたのです。特筆すべきは、金学順さんの告白です。後に金学順さんを問い詰めると「名乗り出たのは、誰にも相手にしてもらえず、寂しかったから：」という動機を告白しています。

今回名乗り出ている筆頭の金福童さんと吉元玉さんについても、同じ様な動機なり、何らかの理由があつての事と推測しています。同情ではなく、確かな証拠をもって抗議してほしいものです。

### 【戦場売春婦と公娼制度について】

慰安婦の問題に入るには、まず戦前と現在の売春のあり方の違いを知っておく必要があるでしょう。現在、売春は法律で禁止されています。売春は犯

罪です。しかし戦前はそうではなかった。地域を限って売春を営むことが認められていました。公娼制度というものです。この制度に基づき、多くの都市に売春宿を集めた遊郭街が形成されていきました。東京における吉原遊郭街などがその代表格です。そこで働く女性ほどの様にして集められたのか？戦前の日本はまだまだ貧しい国でした。一家の暮らしが立ちゆかず、売春業者からまとまった支度金を受け取り、娘を渡すということがあつた様です。娘を売る、身売りとはこの事です。その際の支度金は娘の借金ということになりました。娘は売春婦となつて業者の営む売春宿で働き、借金を返済する。

返済が終われば、あとはその女性の自由というわけです。そこで廃業する人もいたし、同じ商売を続ける人もいました。多少の異同はあるでしょうが、基本的にはこういう仕組みで戦前の売春業は営まれており、そこで働く女性を俗に戦場売春婦と呼ぶそうです。日本と併合していた朝鮮も、売春の状況はほぼ日本と同じだった様です。先ずこの事を踏まえておく必要があるでしょう。

ここで今月号を締めさせて頂きます。来月号も引き続き【慰安婦問題】の《事実だけ》を取り上げて考察していき

と思います。

来月号移行で取り上げなければいけない課題は：『従軍慰安婦の碑・米国マイクホンダ外院議員の決議案・吉田清治の告白本・近隣諸国条項という歴史教科書問題・南京大虐殺』等々、慰安婦問題についての重要な各テーマを取り上げて、吾が日本国民としての自覚と誇りを再確認したいと思います。

戦後教育の弊害が各所で現出している現代社会において、我々が正しい歴史認識を取り戻す事が、教育の最重要課題であると思います。（来月号に続く…）

合掌 副住職 谷川寛敬

